

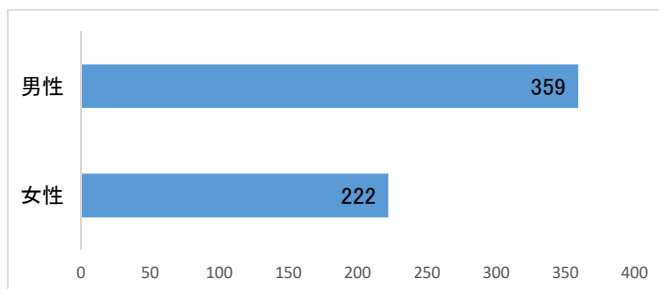
第2回企業内弁護士キャリアパス調査（2018年8月実施）回答結果（単純集計）

【対象者数】 2,156名

【回答者数】 581名（回答率） 26.95%

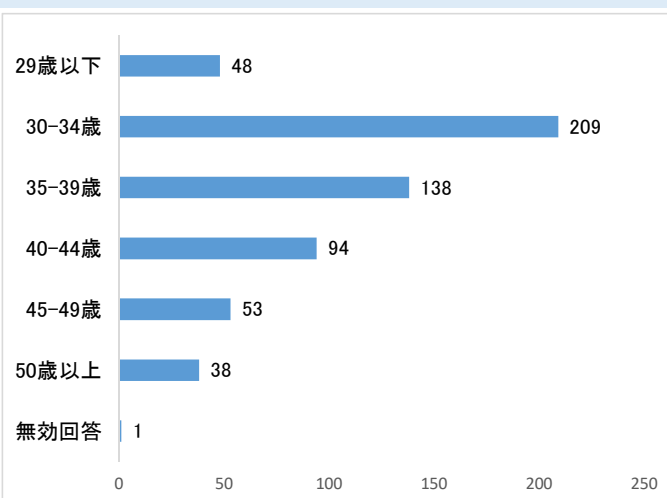
Q1 あなたの性別をお答えください。

	度数	%
TOTAL	581	100.0
男性	359	61.8
女性	222	38.2



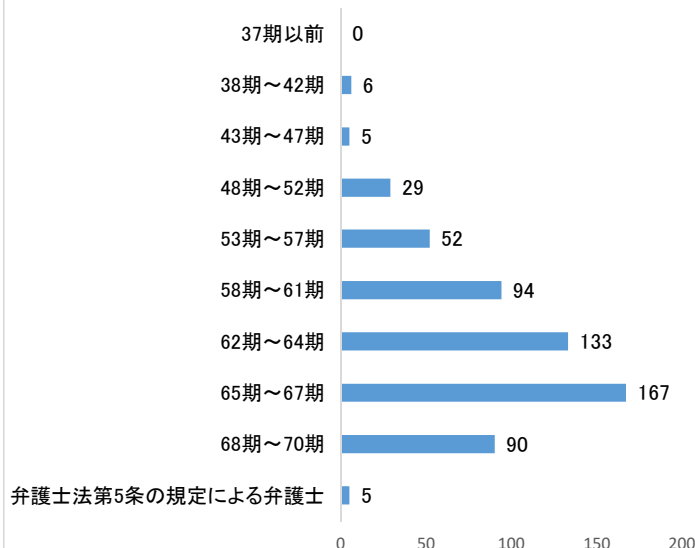
Q2 あなたの年齢をお答えください。

	度数	%
TOTAL	581	100.0
29歳以下	48	8.3
30-34歳	209	36.0
35-39歳	138	23.8
40-44歳	94	16.2
45-49歳	53	9.1
50歳以上	38	6.5
無効回答	1	0.2



Q3 修習期をお答えください。

	度数	%
TOTAL	581	100.0
37期以前	0	0.0
38期～42期	6	1.0
43期～47期	5	0.9
48期～52期	29	5.0
53期～57期	52	9.0
58期～61期	94	16.2
62期～64期	133	22.9
65期～67期	167	28.7
68期～70期	90	15.5
弁護士法第5条の規定による弁護士	5	0.9



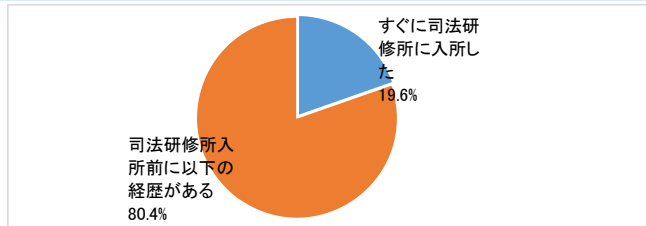
◆あなたのこれまでの経歴についてお聞きします。

大学卒業後、司法研修所入所前までの経歴についてお聞きします（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、大学卒業後、5条研修受講前までの経歴についてお答えください。）。

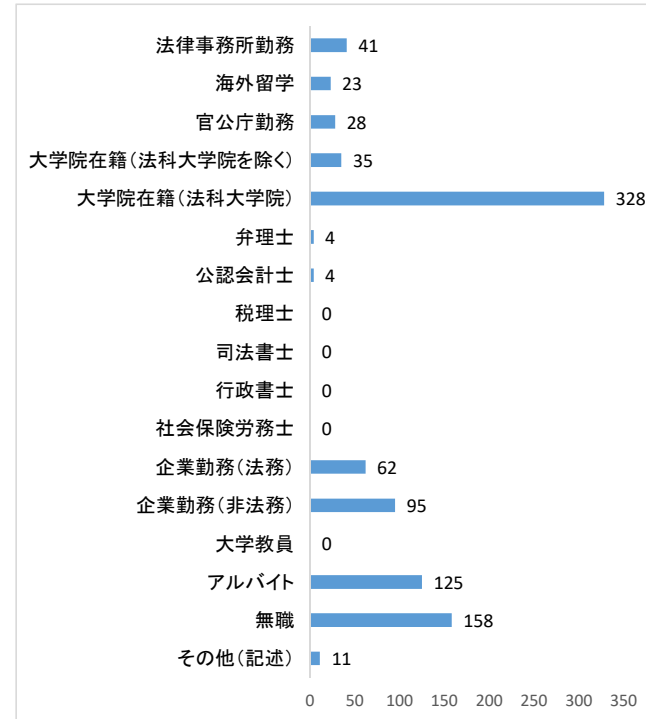
Q4 あなたが経験した経歴等について当てはまるものすべてについて、在籍・在職期間を教えてください。

※在籍・在職期間回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」
※すぐに司法研修所に入所された方は、「すぐに司法研修所に入所した」をお選びください。

	度数	%
TOTAL	581	100.0
すぐに司法研修所に入所した	114	19.6
司法研修所入所前に以下の経歴がある	467	80.4



法律事務所勤務	41
海外留学	23
官公庁勤務	28
大学院在籍（法科大学院を除く）	35
大学院在籍（法科大学院）	328
弁理士	4
公認会計士	4
税理士	0
司法書士	0
行政書士	0
社会保険労務士	0
企業勤務（法務）	62
企業勤務（非法務）	95
大学教員	0
アルバイト	125
無職	158
その他（記述）	11



【Q4-2】その他詳細省略

在籍・在職期間

	法律事務所	海外留学	官公庁勤務	大学院在籍（法科大学院を除く）	大学院在籍（法科大学院）	弁理士
1～12か月	12	12	3	6	4	0
13～24か月	8	7	6	23	182	0
25～36か月	7	2	7	2	135	1
37～48か月	4	2	1	4	5	0
49～60か月	4	0	2	0	2	0
61～72か月	1	0	1	0	0	1
73～84か月	1	0	2	0	0	0
85～96か月	2	0	2	0	0	0
97～108か月	0	0	0	0	0	0
109～120か月	1	0	1	0	0	0
121か月以上	1	0	3	0	0	2
合計	41	23	28	35	328	4
	公認会計士	企業勤務（法務）	企業勤務（非法務）	アルバイト	無職	その他
1～12か月	0	7	11	68	69	5
13～24か月	0	3	8	21	49	2
25～36か月	0	8	15	14	18	1
37～48か月	1	7	9	3	11	1
49～60か月	0	10	11	8	6	1
61～72か月	1	6	3	3	3	1
73～84か月	0	3	3	3	0	0
85～96か月	2	2	5	2	1	0
97～108か月	0	1	1	1	1	0
109～120か月	0	3	10	1	0	0
121か月以上	0	12	19	1	0	0
合計	4	62	95	125	158	11

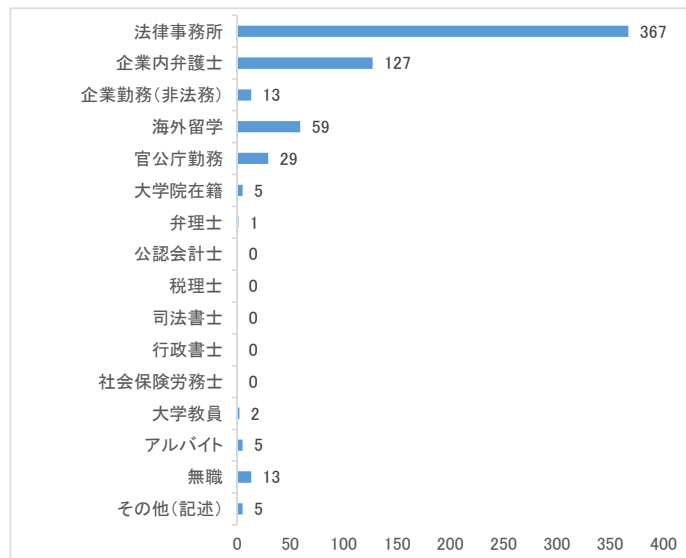
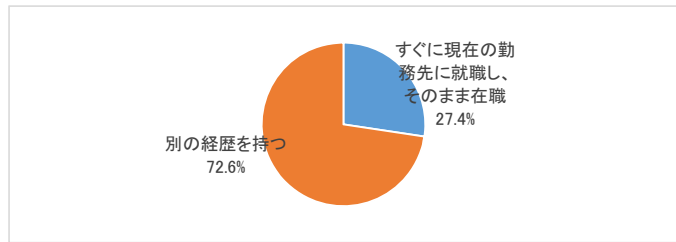
司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴についてお聞きます（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴についてお答えください。）。

Q5 あなたが経験した経歴等について、当てはまるものをすべてお選びください。

※すぐに現在の勤務先企業に就職し、その後出向等で他の勤務先に一時在籍した後に、現在の勤務先に復帰された方は、「現在の勤務先に就職する前に別の経歴がある」から経験した経歴等をお選びください。

	度数	%
TOTAL	581	100.0
すぐに現在の勤務先に就職し、そのまま在職	159	27.4
別の経歴を持つ	422	72.6
別の経歴詳細	度数	%
TOTAL	422	-
法律事務所	367	87.0
企業内弁護士	127	30.1
企業勤務（非法務）	13	3.1
海外留学	59	14.0
官公庁勤務	29	6.9
大学院在籍	5	1.2
弁理士	1	0.2
公認会計士	0	0.0
税理士	0	0.0
司法書士	0	0.0
行政書士	0	0.0
社会保険労務士	0	0.0
大学教員	2	0.5
アルバイト	5	1.2
無職	13	3.1
その他（記述）	5	1.2

その他詳細省略



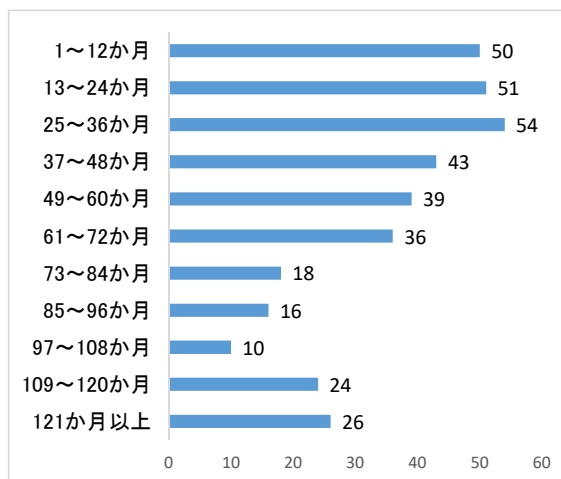
司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴）に関して、あなたは「法律事務所」に勤務したとお答えになりました。

Q6 法律事務所での経験期間（月数）をお答えください。

※回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」

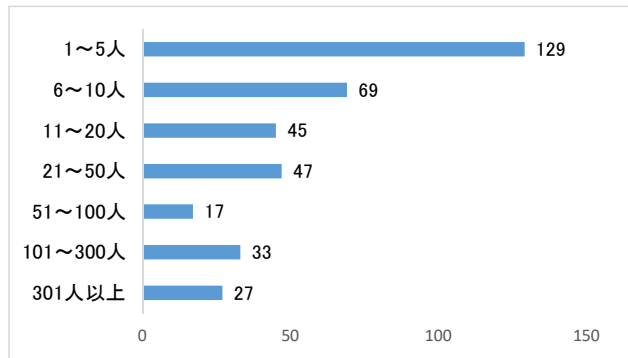
※なお、複数の法律事務所に勤務した経験のある方は、合計の月数をお答えください。

	度数
1～12か月	50
13～24か月	51
25～36か月	54
37～48か月	43
49～60か月	39
61～72か月	36
73～84か月	18
85～96か月	16
97～108か月	10
109～120か月	24
121か月以上	26
合計	367



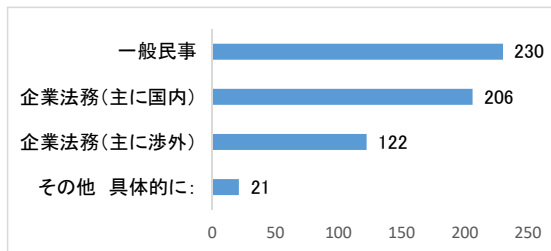
Q6_2 法律事務所の所属弁護士数（あなたを含めて・日本の弁護士に限る）についてお答えください。
 ※なお、複数の法律事務所に勤務した経験のある方は、所属期間の最も長い法律事務所の人数をお答えください。
 ※弁護士法人等に所属していた場合には、勤務していた支店等の人数をお答えください。

	度数	%
TOTAL	367	100.0
1～5人	129	35.1
6～10人	69	18.8
11～20人	45	12.3
21～50人	47	12.8
51～100人	17	4.6
101～300人	33	9.0
301人以上	27	7.4



Q6_3 法律事務所での勤務内容について、当てはまるものをすべてお選びください。

	度数	%
TOTAL	367	-
一般民事	230	62.7
企業法務（主に国内）	206	56.1
企業法務（主に渉外）	122	33.2
その他 具体的に：	21	5.7



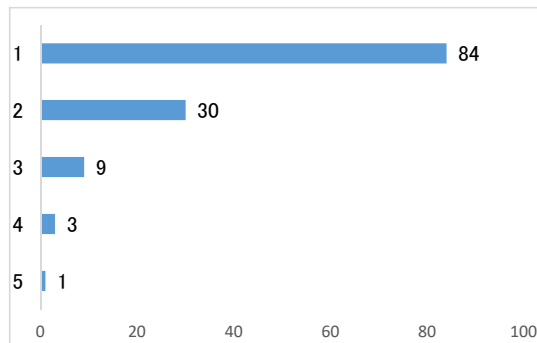
その他詳細省略

司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴）に関して、あなたは「企業内弁護士」として勤務したとお答えになりました。

Q7 現在の勤務先企業に勤める前に在籍した企業数、在籍期間を教えてください。

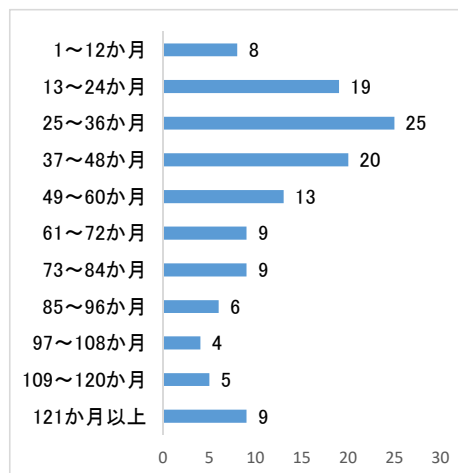
※回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」
 ※なお、複数の企業に在籍された方は、在籍期間は合算してご記入ください。

企業数	度数	%
TOTAL	127	100.0
1	84	66.1
2	30	23.6
3	9	7.1
4	3	2.4
5	1	0.8
平均値	1.5	-
中央値	1	-



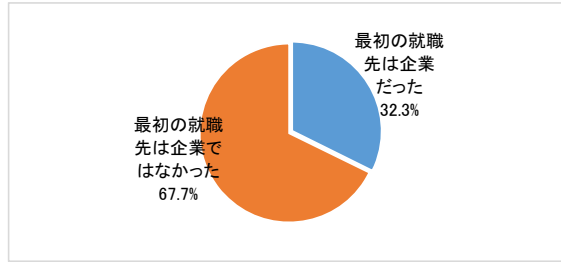
在籍期間

	度数
1～12か月	8
13～24か月	19
25～36か月	25
37～48か月	20
49～60か月	13
61～72か月	9
73～84か月	9
85～96か月	6
97～108か月	4
109～120か月	5
121か月以上	9
合計	127



Q7_2 司法修習終了後最初の就職先は企業でしたか。

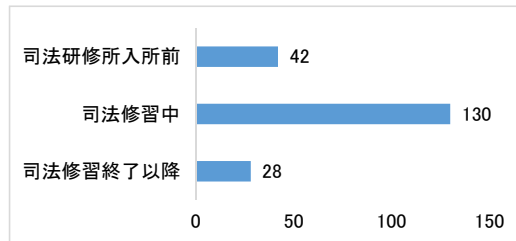
	度数	%
TOTAL	127	100.0
最初の就職先は企業だった	41	32.3
最初の就職先は企業ではなかった	86	67.7



司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴）に関して、あなたは「すぐに現在の勤務先に就職し、そのまま在職」または「最初の就職先は企業だった」とお答えになりました。

Q8 現在の勤務先への就職（内定）はいつ決まりましたか。1つだけお選びください

	度数	%
TOTAL	200	100.0
司法研修所入所前	42	21.0
司法修習中	130	65.0
司法修習終了以降	28	14.0



司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴）に関して、あなたは以下を経験したとお答えになりました。

Q9 あなたが経験した経歴の在籍・在職期間をお答えください。

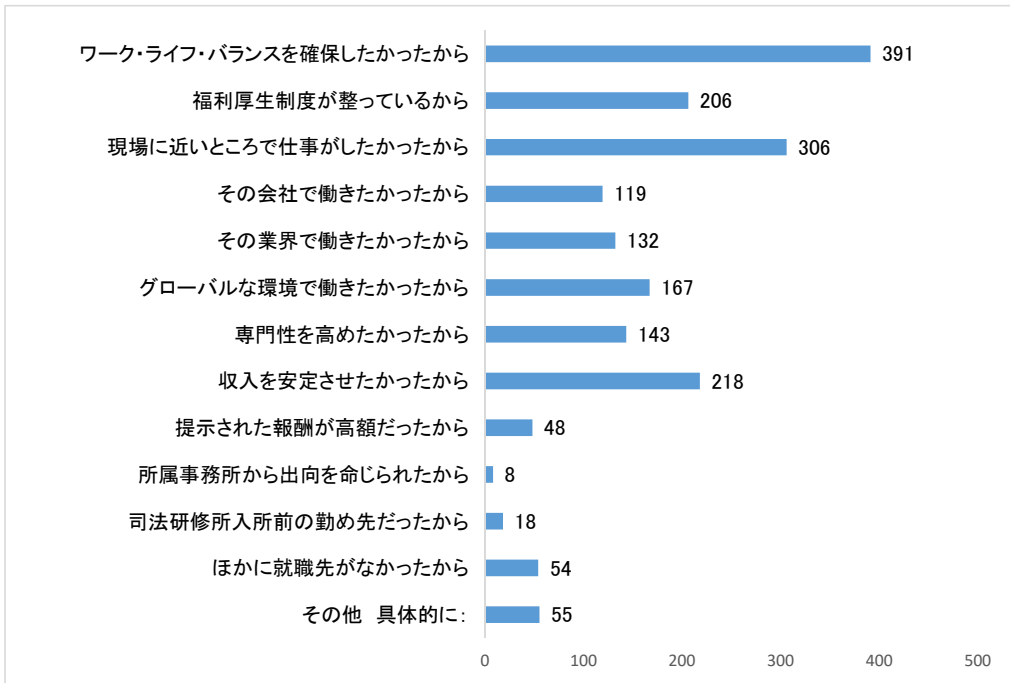
※回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」
※なお、同一のキャリアに対して、複数在籍された方は、在職期間は合算してご記入ください。

	企業勤務 (非法務)	海外留学	官公庁勤務	大学院在籍	弁理士
1～12か月	3	15	4	1	0
13～24か月	2	36	11	1	0
25～36か月	4	6	5	2	0
37～48か月	2	1	4	0	0
49～60か月	0	0	2	1	0
61～72か月	0	0	0	0	1
73～84か月	0	0	0	0	0
85～96か月	0	0	1	0	0
97～108か月	0	0	1	0	0
109～120か月	2	0	1	0	0
121か月以上	0	1		0	0
合計	13	59	29	5	1
	大学教員	アルバイト	無職	その他	
1～12か月	0	4	8	1	
13～24か月	0	1	2	2	
25～36か月	1	0	1	1	
37～48か月	1	0	1	0	
49～60か月	0	0	1	1	
61～72か月	0	0	0	0	
73～84か月	0	0	0	0	
85～96か月	0	0	0	0	
97～108か月	0	0	0	0	
109～120か月	0	0	0	0	
121か月以上	0	0	0	0	
合計	2	5	13	5	

Q10 あなたが企業内弁護士を選んだ理由を、いくつでもお選びください。

	度数	%
TOTAL	581	-
ワーク・ライフ・バランスを確保したかったから	391	67.3
福利厚生制度が整っているから	206	35.5
現場に近いところで仕事をしたかったから	306	52.7
その会社で働きたかったから	119	20.5
その業界で働きたかったから	132	22.7
グローバルな環境で働きたかったから	167	28.7
専門性を高めたかったから	143	24.6
収入を安定させたかったから	218	37.5
提示された報酬が高額だったから	48	8.3
所属事務所から出向を命じられたから	8	1.4
司法研修所入所前の勤め先だったから	18	3.1
ほかに就職先がなかったから	54	9.3
その他 具体的に：	55	9.5

その他詳細省略



◆あなたの現在の勤務先企業についてお聞きします。

Q11 現在の勤務先企業での勤務期間（月数）をお答えください。

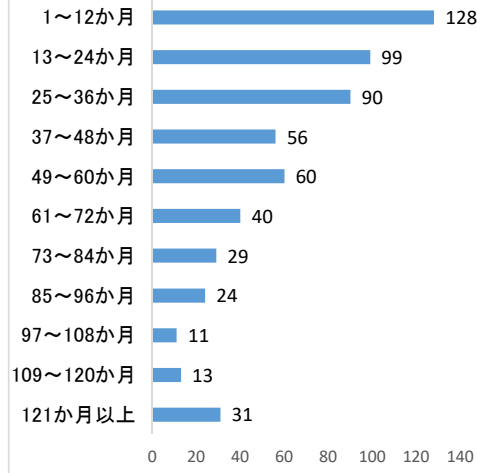
※出産、育児、介護等によって就業を中断した後に復職した場合、通算の期間をお答えください。

※回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」

在籍期間

	度数
1～12か月	128
13～24か月	99
25～36か月	90
37～48か月	56
49～60か月	60
61～72か月	40
73～84か月	29
85～96か月	24
97～108か月	11
109～120か月	13
121か月以上	31

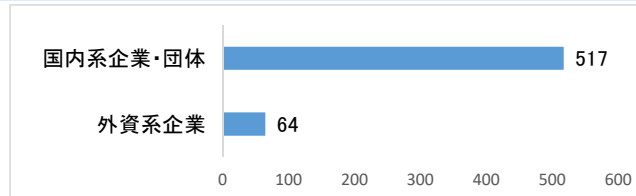
581



Q12 勤務先企業は、国内系企業・団体、外資系企業のいずれに該当しますか。

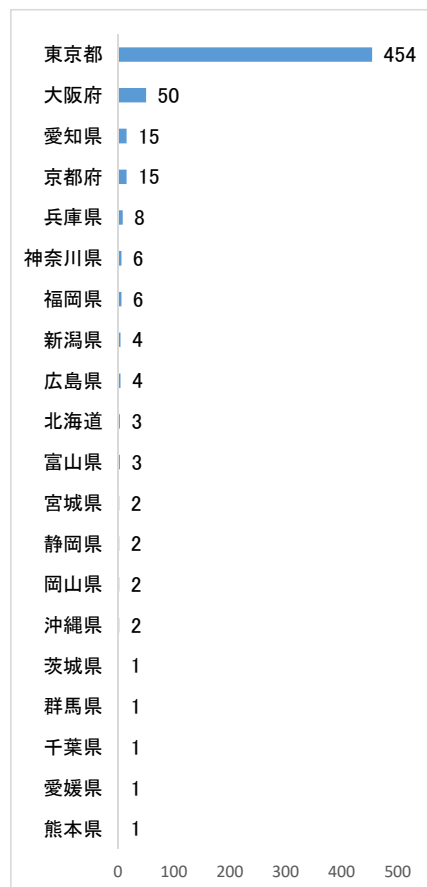
※この質問における「外資系企業」とは、日本国外に本店又は親会社があり、日本にその支店又は子会社がある企業を指します。

	度数	%
TOTAL	581	100.0
国内系企業・団体	517	89.0
外資系企業	64	11.0



Q13 勤務先企業の所在地（都道府県）をお答えください。

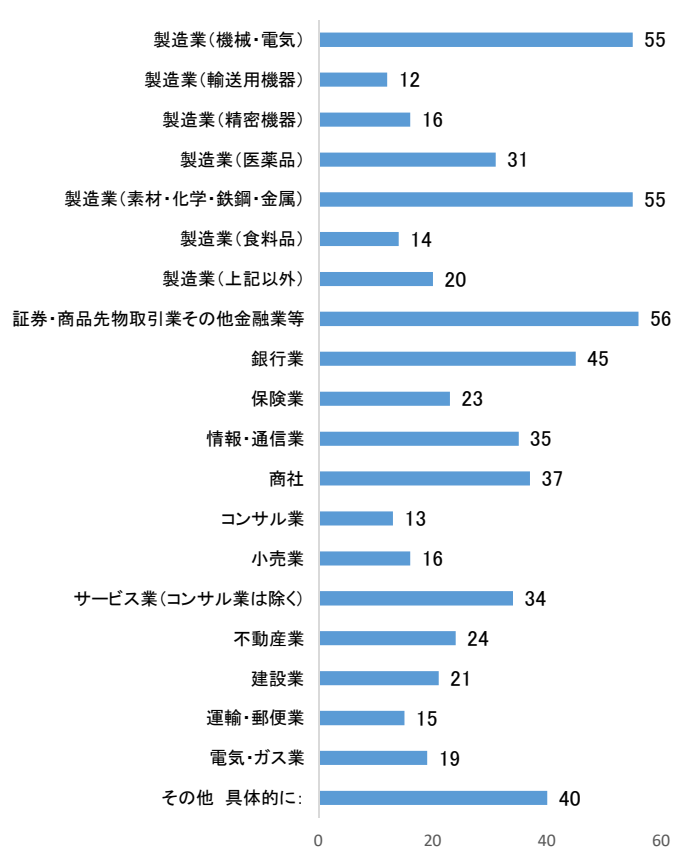
	度数	%		度数	%
TOTAL	581	100.0	栃木県	0	0.0
東京都	454	78.1	埼玉県	0	0.0
大阪府	50	8.6	石川県	0	0.0
愛知県	15	2.6	福井県	0	0.0
京都府	15	2.6	山梨県	0	0.0
兵庫県	8	1.4	長野県	0	0.0
神奈川県	6	1.0	岐阜県	0	0.0
福岡県	6	1.0	三重県	0	0.0
新潟県	4	0.7	滋賀県	0	0.0
広島県	4	0.7	奈良県	0	0.0
北海道	3	0.5	和歌山県	0	0.0
富山県	3	0.5	鳥取県	0	0.0
宮城県	2	0.3	島根県	0	0.0
静岡県	2	0.3	山口県	0	0.0
岡山県	2	0.3	徳島県	0	0.0
沖縄県	2	0.3	香川県	0	0.0
茨城県	1	0.2	高知県	0	0.0
群馬県	1	0.2	佐賀県	0	0.0
千葉県	1	0.2	長崎県	0	0.0
愛媛県	1	0.2	大分県	0	0.0
熊本県	1	0.2	宮崎県	0	0.0
青森県	0	0.0	鹿児島県	0	0.0
岩手県	0	0.0			
秋田県	0	0.0			
山形県	0	0.0			
福島県	0	0.0			



Q14 勤務先企業の業種として当てはまるものを1つお選びください。
 ※その企業において、主力業務としている業種をお答えください。

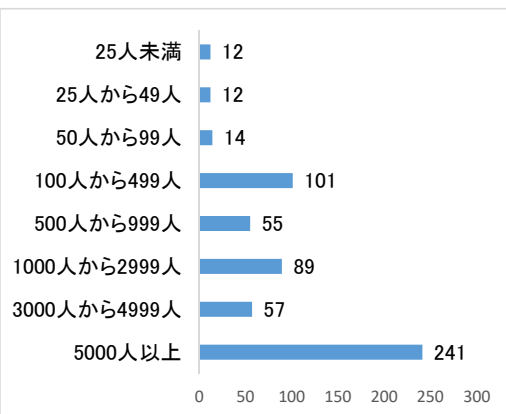
	度数	%
TOTAL	581	100.0
製造業（機械・電気）	55	9.5
製造業（輸送用機器）	12	2.1
製造業（精密機器）	16	2.8
製造業（医薬品）	31	5.3
製造業（素材・化学・鉄鋼・金属）	55	9.5
製造業（食料品）	14	2.4
製造業（上記以外）	20	3.4
証券・商品先物取引業 その他金融業等	56	9.6
銀行業	45	7.7
保険業	23	4.0
情報・通信業	35	6.0
商社	37	6.4
コンサル業	13	2.2
小売業	16	2.8
サービス業（コンサル業は除く）	34	5.9
不動産業	24	4.1
建設業	21	3.6
運輸・郵便業	15	2.6
電気・ガス業	19	3.3
その他 具体的に：	40	6.9

その他詳細省略



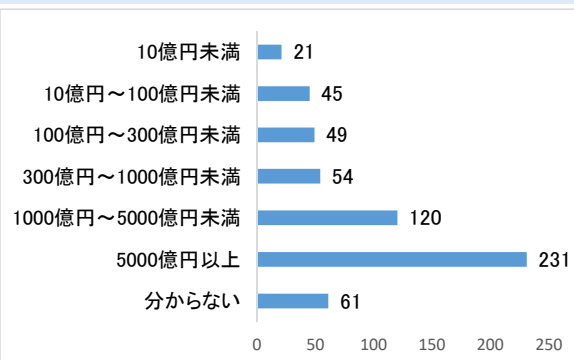
Q15 勤務先企業の従業員のうち、正社員（正規雇用者）の数はどれくらいでしょうか。当てはまるものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	581	100.0
25人未満	12	2.1
25人から49人	12	2.1
50人から99人	14	2.4
100人から499人	101	17.4
500人から999人	55	9.5
1000人から2999人	89	15.3
3000人から4999人	57	9.8
5000人以上	241	41.5



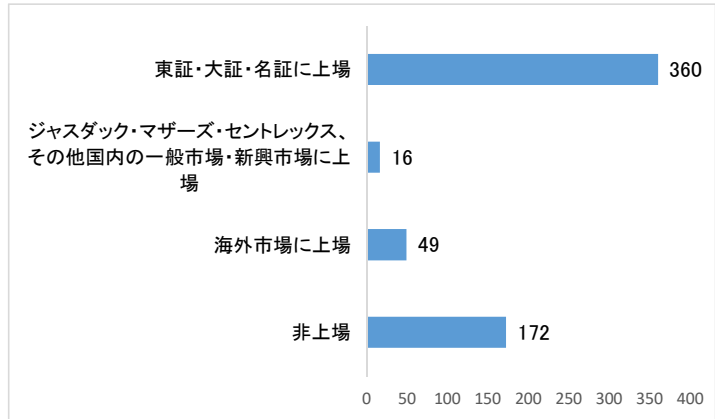
Q16 勤務先企業の前年度の売上額は、下記のどれに該当しますか。当てはまるものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	581	100.0
10億円未満	21	3.6
10億円～100億円未満	45	7.7
100億円～300億円未満	49	8.4
300億円～1000億円未満	54	9.3
1000億円～5000億円未満	120	20.7
5000億円以上	231	39.8
分からない	61	10.5



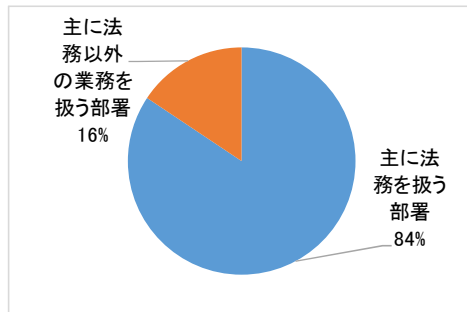
Q17 勤務先企業は上場していますか。上場している場合、下記の各分類のうちどれに該当しますか。
 (連結で上場している場合も含まれます。) 当てはまるものをすべてお選びください。
 ※上場していない場合には「非上場」をお選びください。
 ※連結で上場している場合には、当該連結会社が上場している市場をお選びください。

	度数	%
TOTAL	581	-
東証・大証・名証に上場	360	62.0
ジャスダック・マザーズ・セントレックス、 その他国内の一般市場・新興市場に上場	16	2.8
海外市場に上場	49	8.4
非上場	172	29.6



Q18 あなたの現在の配属部署は主に法務を扱う部署ですか。

	度数	%
TOTAL	581	100.0
主に法務を扱う部署	490	84.3
主に法務以外の業務を扱う部署	91	15.7



Q19 あなたの所属部署のあなたを含めた所属人数をそれぞれお答えください。
現在の勤務先企業の所属部署は、「主に法務を扱う部署」とお答えになっています。

(1) 所属部署全体の人数

	度数	%
TOTAL	490	100.0
3	32	6.5
10	31	6.3
4	30	6.1
20	26	5.3
8	25	5.1
6	25	5.1
2	25	5.1
30	24	4.9
5	24	4.9
1	23	4.7
9	20	4.1
7	18	3.7
25	15	3.1
16	13	2.7
15	13	2.7
13	12	2.4
11	11	2.2
50	10	2.0
40	10	2.0
60	9	1.8
14	9	1.8
70	7	1.4
19	7	1.4
17	7	1.4
18	6	1.2
12	5	1.0
100	4	0.8
26	4	0.8
22	4	0.8
80	3	0.6
21	3	0.6
150	2	0.4
120	2	0.4
45	2	0.4
35	2	0.4
34	2	0.4
31	2	0.4
800	1	0.2
300	1	0.2
200	1	0.2
132	1	0.2
97	1	0.2
90	1	0.2
84	1	0.2
72	1	0.2
62	1	0.2
61	1	0.2
55	1	0.2
54	1	0.2
46	1	0.2
44	1	0.2
42	1	0.2
39	1	0.2
38	1	0.2
37	1	0.2
32	1	0.2
29	1	0.2
27	1	0.2
24	1	0.2
23	1	0.2
平均値	20.9	-
中央値	10	-

(2) うち日本の弁護士の数

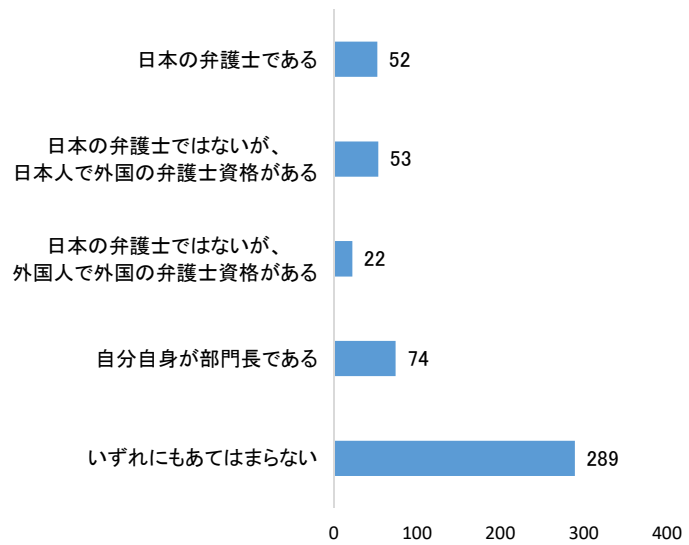
	度数	%
TOTAL	490	100.0
1	167	34.1
2	107	21.8
3	54	11.0
4	44	9.0
5	23	4.7
6	22	4.5
10	12	2.4
15	8	1.6
12	7	1.4
9	7	1.4
7	7	1.4
20	6	1.2
13	5	1.0
16	4	0.8
8	4	0.8
30	3	0.6
14	2	0.4
40	1	0.2
27	1	0.2
26	1	0.2
23	1	0.2
22	1	0.2
21	1	0.2
18	1	0.2
11	1	0.2
平均値	4.1	-
中央値	2	-

(3) うち法律事務所から出向している日本の弁護士の数

	度数	%
TOTAL	490	100.0
0	413	84.3
1	35	7.1
2	16	3.3
3	13	2.7
4	5	1.0
5	4	0.8
10	2	0.4
8	2	0.4
平均値	0.4	-
中央値	0	-

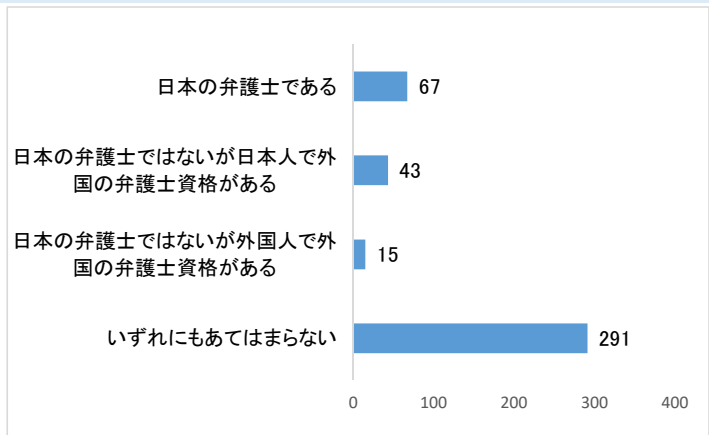
Q20 部門長について、1つお選びください。ご自身が部門長である場合は、「自分自身が部門長である」をお選びください。
現在の勤務先企業の所属部署は、「主に法務を扱う部署」とお答えになっています。

	度数	%
TOTAL	490	100.0
日本の弁護士である	52	10.6
日本の弁護士ではないが、日本人で外国の弁護士資格がある	53	10.8
日本の弁護士ではないが、外国人で外国の弁護士資格がある	22	4.5
自分自身が部門長である	74	15.1
いずれにもあてはまらない	289	59.0



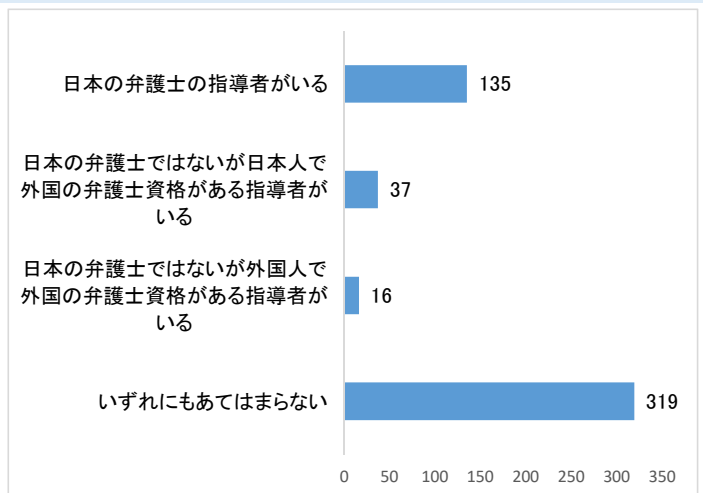
Q21 直属の上司について、1つお選びください。
現在の勤務先企業の所属部署は、「主に法務を扱う部署」とお答えになっています（Q20で「自分自身が部門長である」と回答した人を除く）。

	度数	%
TOTAL	416	100.0
日本の弁護士である	67	16.1
日本の弁護士ではないが日本人で外国の弁護士資格がある	43	10.3
日本の弁護士ではないが外国人で外国の弁護士資格がある	15	3.6
いずれにもあてはまらない	291	70.0



Q22 所属部署にあなたを指導できる立場にある弁護士等（上司、先輩）はいますか。（Q20で「自分自身が部門長である」と回答した人を除く）

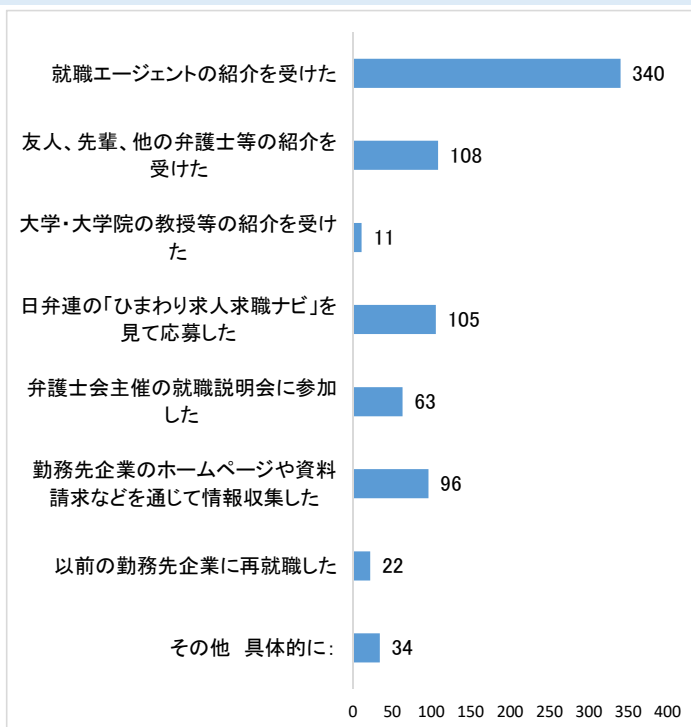
	度数	%
TOTAL	507	100.0
日本の弁護士の指導者がいる	135	26.6
日本の弁護士ではないが日本人で外国の弁護士資格がある指導者がいる	37	7.3
日本の弁護士ではないが外国人で外国の弁護士資格がある指導者がいる	16	3.2
いずれにもあてはまらない	319	62.9



Q23 あなたが現在の勤務先企業に就職する際に行った就職活動について、役に立ったものを3つまでお選びください。

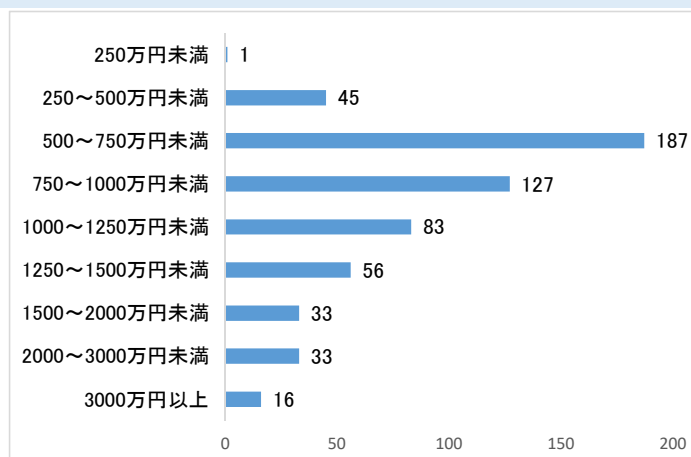
	度数	%
TOTAL	581	-
就職エージェントの紹介を受けた	340	58.5
友人、先輩、他の弁護士等の紹介を受けた	108	18.6
大学・大学院の教授等の紹介を受けた	11	1.9
日弁連の「ひまわり求人求職ナビ」を見て応募した	105	18.1
弁護士会主催の就職説明会に参加した	63	10.8
勤務先企業のホームページや資料請求などを通じて情報収集した	96	16.5
以前の勤務先企業に再就職した	22	3.8
その他 具体的に：	34	5.9

その他詳細省略



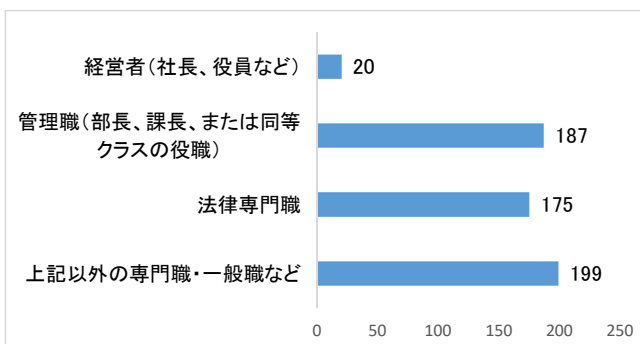
Q24 あなたが勤務先企業から昨年1年間で得た収入（税込）はおよそどのくらいでしたか。1つお選びください。勤務が1年に満たない場合は、1年間勤務した場合としてお考えください。

	度数	%
TOTAL	581	100.0
250万円未満	1	0.2
250～500万円未満	45	7.7
500～750万円未満	187	32.2
750～1000万円未満	127	21.9
1000～1250万円未満	83	14.3
1250～1500万円未満	56	9.6
1500～2000万円未満	33	5.7
2000～3000万円未満	33	5.7
3000万円以上	16	2.8



Q25 現在の勤務先企業でのポジションについてお聞きします。以下のうち、当てはまるものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	581	100.0
経営者（社長、役員など）	20	3.4
管理職（部長、課長、または同等クラスの役職）	187	32.2
法律専門職	175	30.1
上記以外の専門職・一般職など	199	34.3



Q26 あなたの業務のうち、法務に関するものの割合（％）はどの程度ですか。その割合（％）について、お答えください。※法務+非法務の割合が、合計で100%になるようにお答えください。

(1) 法務（％）

法務（％）	度数	％
TOTAL	581	100.0
0	10	1.7
3	1	0.2
5	6	1.0
10	15	2.6
15	1	0.2
20	16	2.8
25	1	0.2
30	17	2.9
40	6	1.0
50	35	6.0
60	23	4.0
65	1	0.2
70	51	8.8
75	8	1.4
80	70	12.0
85	10	1.7
90	89	15.3
95	30	5.2
97	1	0.2
98	1	0.2
99	1	0.2
100	188	32.4
平均値	77.6	-
中央値	90	-

(2) 非法務（％）

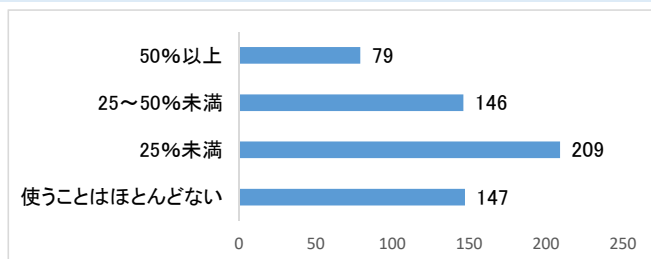
非法務（％）	度数	％
TOTAL	581	100.0
0	188	32.4
1	1	0.2
2	1	0.2
3	1	0.2
5	30	5.2
10	89	15.3
15	10	1.7
20	70	12.0
25	8	1.4
30	51	8.8
35	1	0.2
40	23	4.0
50	35	6.0
60	6	1.0
70	17	2.9
75	1	0.2
80	16	2.8
85	1	0.2
90	15	2.6
95	6	1.0
97	1	0.2
100	10	1.7
平均値	22.4	-
中央値	10	-

Q27 あなたは法律事務所からの出向で勤務していますか。

	度数	％
TOTAL	581	100.0
法律事務所からの出向である	4	0.7
法律事務所からの出向ではない	577	99.3

Q28 業務における外国語を用いる割合についてお聞きます。以下のうち、当てはまるものを1つお選びください。

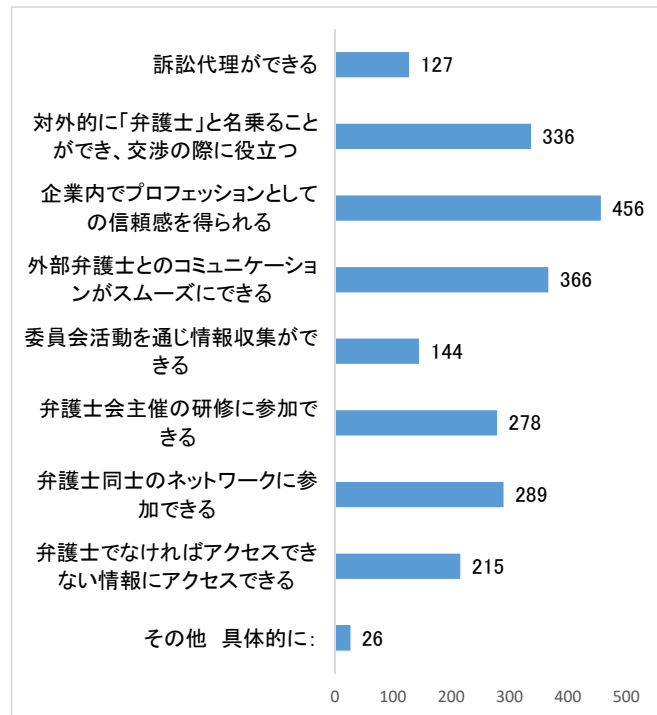
	度数	％
TOTAL	581	100.0
50%以上	79	13.6
25～50%未満	146	25.1
25%未満	209	36.0
使うことはほとんどない	147	25.3



Q29 企業内弁護士として仕事をする上で、弁護士登録をされていてよかったと思う点がありますか。当てはまるものをいくつでもお選びください。

	度数	%
TOTAL	581	-
訴訟代理ができる	127	21.9
対外的に「弁護士」と名乗ることができ、交渉の際に役立つ	336	57.8
企業内でプロフェッションとしての信頼感を得られる	456	78.5
外部弁護士とのコミュニケーションがスムーズにできる	366	63.0
委員会活動を通じ情報収集ができる	144	24.8
弁護士会主催の研修に参加できる	278	47.8
弁護士同士のネットワークに参加できる	289	49.7
弁護士でなければアクセスできない情報にアクセスできる	215	37.0
その他 具体的に：	26	4.5

その他詳細省略



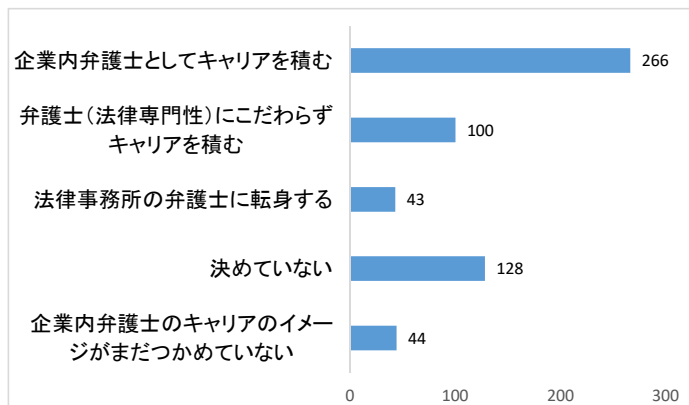
Q30 現在の仕事に対してどの程度満足していますか。それぞれの項目について当てはまるものを1つずつお選びください。

	n(TOTAL)	大変満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	かなり不満
業務内容	581	104	294	100	63	20
	100.0	17.9	50.6	17.2	10.8	3.4
専門性・スキルアップ	581	77	263	118	84	39
	100.0	13.3	45.3	20.3	14.5	6.7
年収	581	55	229	139	120	38
	100.0	9.5	39.4	23.9	20.7	6.5
ワーク・ライフ・バランス	581	242	229	69	36	5
	100.0	41.7	39.4	11.9	6.2	0.9

◆あなたの今後のキャリアに対する考え方についてお聞きします。

Q31 今後どのようなキャリアをイメージしていますか。最も近いものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	581	100.0
企業内弁護士としてキャリアを積む	266	45.8
弁護士（法律専門性）にこだわらずキャリアを積む	100	17.2
法律事務所の弁護士に転身する	43	7.4
決めていない	128	22.0
企業内弁護士のキャリアのイメージがまだつかめていない	44	7.6

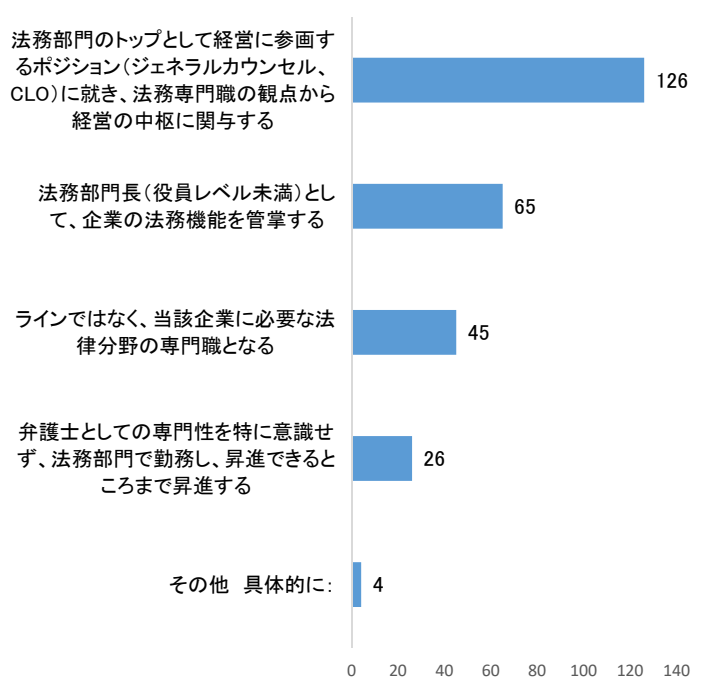


今後のキャリアに関して、あなたは「企業内弁護士としてキャリアを積む」とお答えになりました。

Q32 具体的にはどのようなキャリアを目指していますか。最も近いものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	266	100.0
法務部門のトップとして経営に参画するポジション（ジェネラルカウンセラー、CLO）に就き、法務専門職の観点から経営の中枢に関与する	126	47.4
法務部門長（役員レベル未満）として、企業の法務機能を管掌する	65	24.4
ラインではなく、当該企業に必要な法律分野の専門職となる	45	16.9
弁護士としての専門性を特に意識せず、法務部門で勤務し、昇進できるところまで昇進する	26	9.8
その他 具体的に：	4	1.5

その他詳細省略



Q32.2 「企業内弁護士としてキャリアを積む」と考える理由は何ですか。※300文字以内でご記入ください。

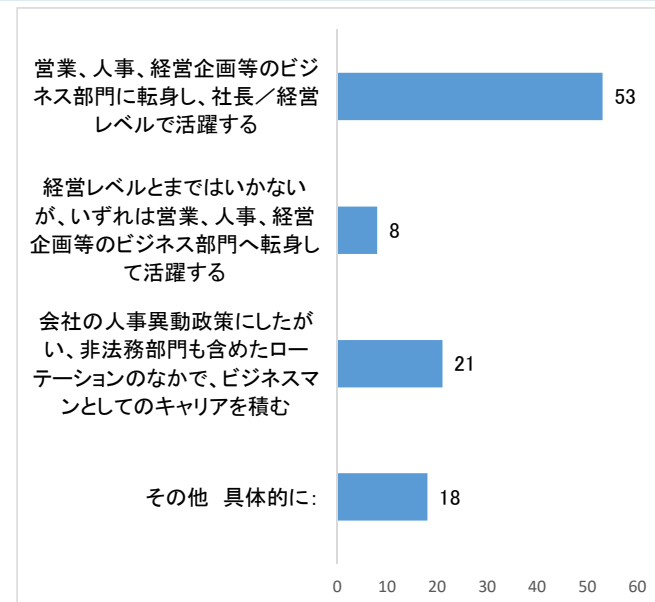
※省略

今後のキャリアに関して、あなたは「弁護士（法律専門性）にこだわらずキャリアを積む」とお答えになりました。

Q33 具体的にはどのようなキャリアを目指していますか。最も近いものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	100	100.0
営業、人事、経営企画等のビジネス部門に転身し、社長／経営レベルで活躍する	53	53.0
経営レベルとまではいかないが、いずれは営業、人事、経営企画等のビジネス部門へ転身して活躍する	8	8.0
会社の人事異動政策にしたがい、非法律部門も含めたローテーションのなかで、ビジネスマンとしてのキャリアを積む	21	21.0
その他 具体的に：	18	18.0

その他詳細省略



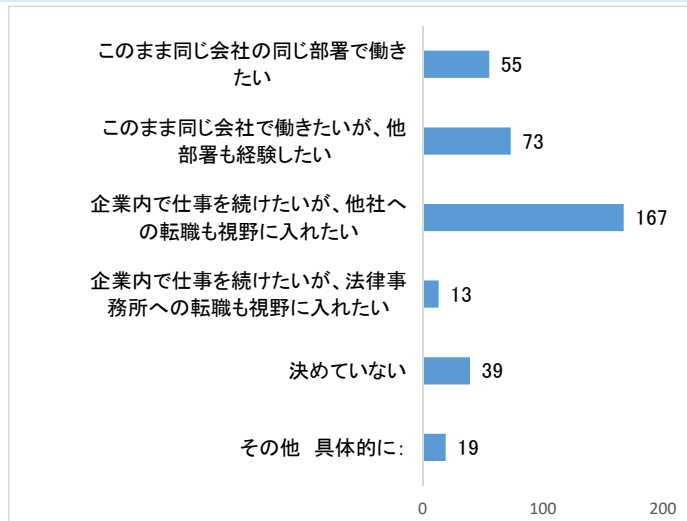
Q33.2 「弁護士（法律専門性）にこだわらずキャリアを積む」と考える理由は何ですか。※300文字以内でご記入ください。

※省略

Q34 今後のキャリアに関して、あなたは「企業内弁護士としてキャリアを積む」または「弁護士（法律専門性）にこだわらずキャリアを積む」とお答えになりました。将来の展望について、最も近いものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	366	100.0
このまま同じ会社の同じ部署で働きたい	55	15.0
このまま同じ会社で働きたいが、他部署も経験したい	73	19.9
企業内で仕事を続けたいが、他社への転職も視野に入れたい	167	45.6
企業内で仕事を続けたいが、法律事務所への転職も視野に入れたい	13	3.6
決めていない	39	10.7
その他 具体的に：	19	5.2

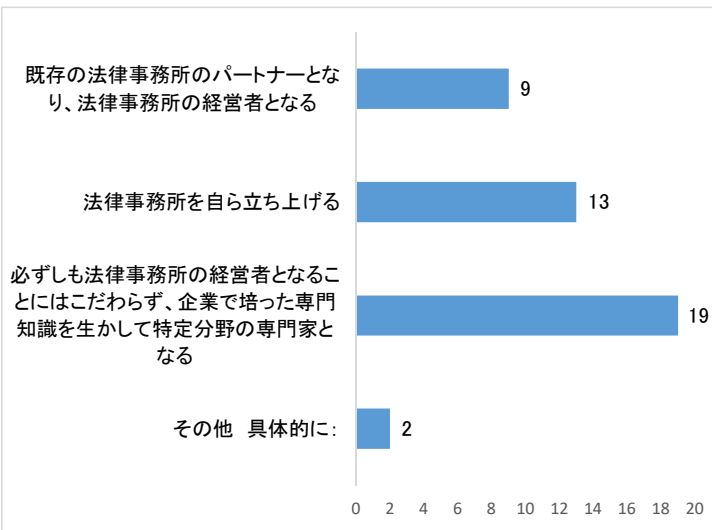
その他詳細省略



Q35 今後のキャリアに関して、あなたは「法律事務所の弁護士に転身する」とお答えになりました。具体的にはどのようなキャリアを目指していますか。最も近いものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	43	100.0
既存の法律事務所のパートナーとなり、法律事務所の経営者となる	9	20.9
法律事務所を自ら立ち上げる	13	30.2
必ずしも法律事務所の経営者となることにはこだわらず、企業で培った専門知識を生かして特定分野の専門家となる	19	44.2
その他 具体的に：	2	4.7

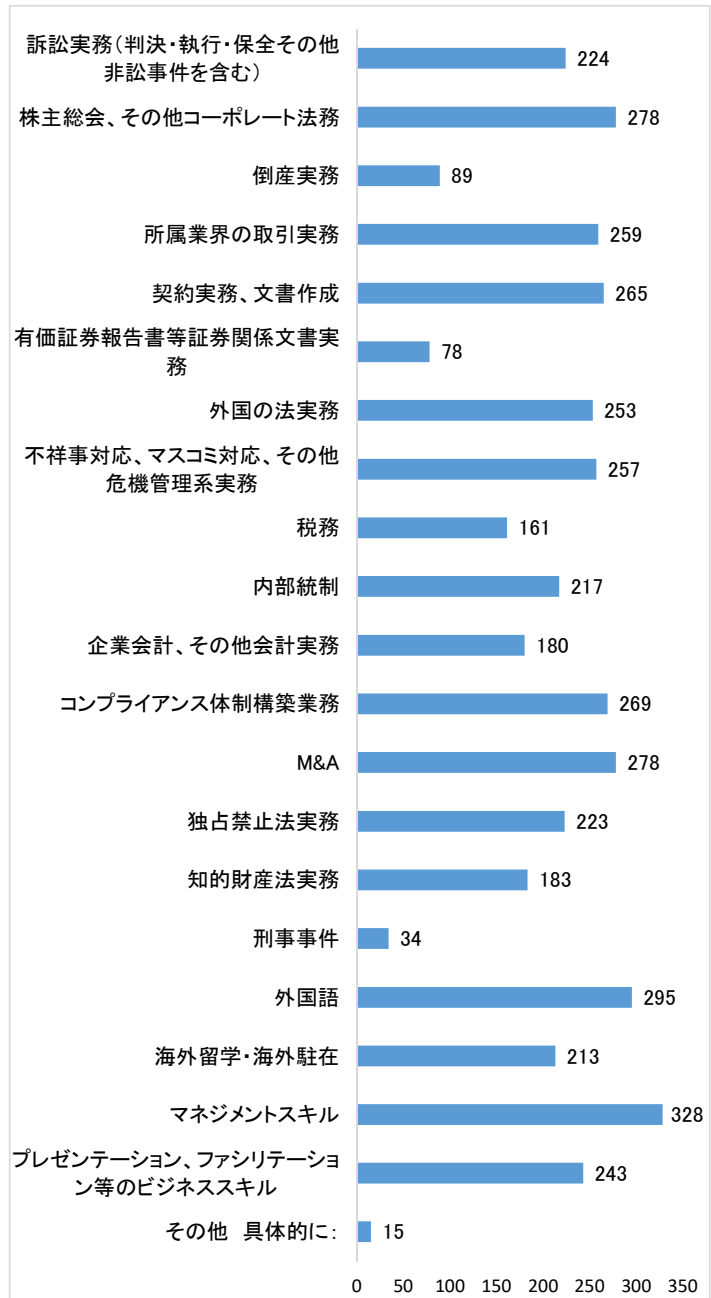
その他詳細省略



Q36 今後のキャリアアップのために有益であり、取り組みたいと思う事項は次のうちどれですか。当
てはまるものをすべてお選びください。

	度数	%
TOTAL	581	-
訴訟実務（判決・執行・保全その他非訟事件を含む）	224	38.6
株主総会、その他コーポレート法務	278	47.8
倒産実務	89	15.3
所属業界の取引実務	259	44.6
契約実務、文書作成	265	45.6
有価証券報告書等証券関係文書実務	78	13.4
外国の法実務	253	43.5
不祥事対応、マスコミ対応、その他危機管理系実務	257	44.2
税務	161	27.7
内部統制	217	37.3
企業会計、その他会計実務	180	31.0
コンプライアンス体制構築業務	269	46.3
M&A	278	47.8
独占禁止法実務	223	38.4
知的財産法実務	183	31.5
刑事事件	34	5.9
外国語	295	50.8
海外留学・海外駐在	213	36.7
マネジメントスキル	328	56.5
プレゼンテーション、ファシリテーション等のビジネススキル	243	41.8
その他 具体的に：	15	2.6

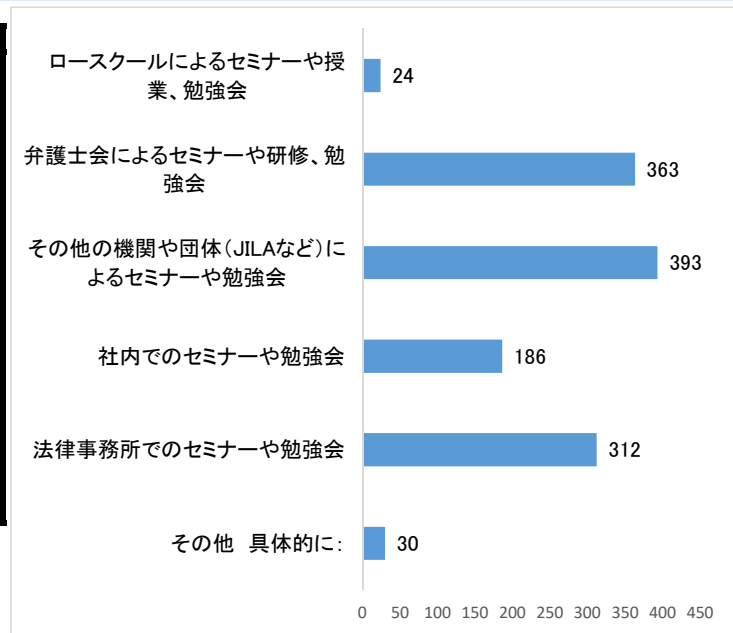
その他詳細省略



Q37 あなたは、法務・非法務を問わず、今どのような研修を利用していますか。当てはまるものすべてをお選びください。

	度数	%
TOTAL	581	-
ロースクールによるセミナーや授業、勉強会	24	4.1
弁護士会によるセミナーや研修、勉強会	363	62.5
その他の機関や団体(JILAなど)によるセミナーや勉強会	393	67.6
社内でのセミナーや勉強会	186	32.0
法律事務所でのセミナーや勉強会	312	53.7
その他 具体的に：	30	5.2

その他詳細省略



Q37_2 あなたは、法務・非法務を問わず、どのような研修・セミナー等が必要だとお考えですか。
※300文字以内でご記入ください。

※省略

Q38 将来のキャリアに関する期待と不安についてお聞きます。それぞれの項目について当てはまるものを1つお選びください。

	n(TOTAL)	期待がある	どちらかという期待がある	どちらでもない	どちらかという不安がある	不安がある
ビジネスを遂行する過程に関わる中で、ビジネス活動の一翼を担う者として成長できる	581 100.0	238 41.0	217 37.3	79 13.6	32 5.5	15 2.6
その業種特有の専門性を高めることができる	581 100.0	224 38.6	215 37.0	91 15.7	37 6.4	14 2.4
自分の知識・経験・専門性を仕事に活かすことができる	581 100.0	226 38.9	263 45.3	49 8.4	28 4.8	15 2.6
企業をめぐる法務問題全般を見ることができ、企業法務専門家としてバランスのとれた経験を積むことができる	581 100.0	216 37.2	215 37.0	77 13.3	50 8.6	23 4.0
法律外の問題や社内調整など法的業務以外の仕事も担う中で成長できる	581 100.0	193 33.2	248 42.7	99 17.0	28 4.8	13 2.2
今の業種／企業以外でも通用する法律家になることができる	581 100.0	134 23.1	181 31.2	107 18.4	114 19.6	45 7.7
指導者や研修環境に恵まれており、法律専門家として成長できる	581 100.0	68 11.7	124 21.3	170 29.3	120 20.7	99 17.0
組織内でキャリアパスができており、将来について具体的なイメージを描くことができる	581 100.0	33 5.7	100 17.2	193 33.2	122 21.0	133 22.9
組織内での信頼を獲得し、組織人として成功することができる	581 100.0	146 25.1	235 40.4	129 22.2	41 7.1	30 5.2
弁護士であることが 今後組織内で信頼を得ていく一つの要素となっていくと感じられる	581 100.0	157 27.0	242 41.7	126 21.7	25 4.3	31 5.3
ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることができる	581 100.0	251 43.2	223 38.4	74 12.7	24 4.1	9 1.5
待遇面での向上が見込める	581 100.0	92 15.8	186 32.0	173 29.8	82 14.1	48 8.3

Q39 将来のキャリアについてこれ以外の期待や不安があれば記載してください。

※省略